

学校名	熊谷市立籠原小学校 <small>かごはら</small>
所在地	熊谷市新堀1143番地 <small>にいぼり</small>
電話	048-532-4033

1 本校の概要

本校は、本年度で53周年を迎え、「居心地が良く、何でも言える学級の集まる学校」を目指す学校像とし、一人一人の存在価値が生かされる学級づくりを重点としている。その上で、全教職員が一丸となって、新熊谷プロジェクトのもと、学力向上を目指している。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ 読書月間の取組
- ・ 日常的に読書に親しむ環境作り
- ・ 図書館補助員との連携

(2) 実践の概要

児童の読書活動を盛んにし、豊かな心情と幅広い知識を身につけさせ、継続的に読書に親しむ態度を養うために以下の取組を行った。

ア 学校全体での読書月間の取組

- ・ おすすめの本を書いた「読書の木」の掲示
- ・ 親子読書
- ・ 図書委員による図書集会の実施



イ 各学年、学級での読書活動の推進

今年度校舎改修工事のため、半年間図書室が使えない期間があった。その期間も学年や学級で教室や廊下に本を置くなど読書啓発を行った。



ウ 図書館補助員を活用した読書活動

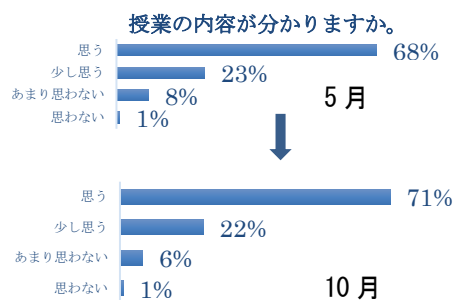
- ・ 季節に応じたおすすめ本のコーナーの設置や蔵書の定期的な整備による親しみやすい図書室作り
- ・ 低学年を中心とした読み聞かせ



3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ・ 読書月間の取組では、全校で期間を決めて取り組んだことにより、読書への意欲を高めることにつながった。また、保護者も巻き込んだ活動を行うことで、家庭への読書活動の啓発につなげることができた。
- ・ 廊下や教室内に図書コーナーを設置し、読書に親しむ環境を整えることにより、自然と本に触れる児童の姿が見られた。
- ・ 学習に関するアンケート結果によると、読書習慣が学習意欲や学力向上にもつながると考える。



(2) 課題

- ・ 読書が好きな子、苦手な子の差が大きく、読書量の二極化が感じられる。本が好きな児童を増やすことができるよう、さらに工夫が必要である。
- ・ 読む本のジャンルに偏りが見られる。より様々な本に触れることができるよう、さらに工夫が必要である。

(3) おわりに

児童が自然と本に触れる機会を増やすよう今後も学校全体で継続的に取り組んでいく。